

Capo. 3 1-2il C
Capo. 1 オープン D

E

ひがやく腫

An G F G An

^C 幼い子 ^G の腫 ^F 純粋 ^C に光る

^F キラキラ ^{Dm} 輝く ^F ビー玉 ^{F#} のように ^G

^C 綺麗な腫 ^G が ^F 何も ^C しなくても

^F 嬉し ^{Dm} こと ^F 共に ^G さう ^C に ^G ひと ^C にお

^{An} 面白 ^G くて ^G な ^G ち ^G の ^G 見 ^G せ ^G た ^G 時

^F 驚 ^G いた ^G よう ^G に ^G 見 ^G 開 ^G く ^G 瞬 ^G 間

^{An} ほ ^G っ ^G き ^G り ^G 伝 ^G へ ^G る ^G 感 ^G 情

^F 喜 ^G び ^G の ^G 顔 ^G に ^G 相 ^G 対 ^G して ^G 嬉 ^{An} しく ^G さ ^G せる

^C 大人 ^{An} には ^F 見 ^{Dm} え ^{Dm} ない ^{Dm} 青 ^{Dm} い ^{Dm} 世界

^G 無 ^G 邪 ^G 気 ^G に ^{Dm} さ ^G り ^G っ ^G た ^G く ^G 観 ^G っ ^G て ^G る

^C 固定 ^{An} 観 ^F 念 ^{Dm} と ^{Dm} な ^{Dm} く ^{Dm} 不 ^{Dm} 思 ^{Dm} 議 ^{Dm} が ^{Dm} ら ^{Dm} ず ^{Dm} に

^G あり ^G の ^G 子 ^G 々 ^G の ^C 子 ^C 々 ^C 受 ^C り ^C と ^C め ^C て ^C いる

1-2il + オープン D

誰もが昔の子供の感覚

思い出せなくて曇った瞳で

つづれの中に新しい刺激を

いつも感じてたことも忘れてる

本当に面白くないと

愛想笑いで笑うこともなく

ほっこり伝わる感情

羨ましいほどに正直に生きている

大人には見えない青い世界

無邪気にさりげなく覗いてる

固定観念となく不思議がらずに

ありの子々の子々受けてる

見えるものしか見ない

短い言葉で たくさしのことを伝える

あれこれと 考えすぎて わかりにくくなって

見えないものまで 見ようとすることに

見えるものしか 見ないことに

使い分ける タイミングがある

ああ本当に ぶがかしい

最後には 思うこと

やはり素直なことが いいかと

努力して 追求して 考え深いことよりも

誰の目にも 映るほど わかりやすいのが いいこともある

見えないものまで 見ようとすることに

見えるものしか 見ないことに

使い分ける タイミングがある

ああ本当に ぶがかしい

最後には たくさしの

芝居さそう ことが いいかと

パンダラタミア

★ それはいつもの合言葉

パンダラタミア タラタミア

愉快な気持ちで使っていたのに

今では悲しい響きに ★

検索しても出てこない言葉を

君は見つけたと得意顔で言えた

あれは寒くなる前のことだった

突然一言残していなくなった

今どこにいるのか 何をしているの

せめて検索でわかるようにして

(★ - ★★)

パンダラの箱に似せてつけたのか

僕がもしかしていけないことしたのか

立ち入ったことを聞いたおもしろいな

突然一言残していなくなった

今どこにいるのか 何をしているの

せめて検索でわかるようにして

(★ - ★★)

流れ流され

E_n D E_n DE_n D
流れ流され気付いた時はE_n D
思いもよらぬところ^Dに辿り着くE_n D
今立っているこの場所^Dは何^DとE_n D
きっと何かの縁^DがあったのだろうG D
どうして僕^Gはここに^DいるんだろうかたどとE_n G D
その理由^Gを考える必要^DなんておそれたくないG D
それはつまり全て「運命」^Dと^Gいわれ^DてるE_n G D
必然^{E_n}的な何か^Gの存在^Dにいた^Dという^Dこと流れ流され^Dえれも間違^Dいでないだってそれが正しい^Dこともあるから今立っているこの場所^Dにも^Dそうきっと素晴らしい^Dことあるに違^Dいないこれから僕^Gはここで^Dどうしたらいい^Dのかと思^Gい^Dあ^Gじ^Dね^Gる^Dことある^Dかもしれない^D、けれど^Dも流れに逆ら^Gわず^D流^Dされ^Dて^Dは^Dよ^Dく^D生き甲斐^Gは^D気持ち^Gの持ち方^Dで^D作^Dら^Dれ^Dて^Dゆく^Dもの何か^Gも思い^D通り^Dなら^Dない^Dだから^Dこそ迷^Gいや^D気が^Gま^Dに^D出^D会^Dえる^D面白^Dさ^Dある^Dように踏み^G外^Dした^Dところ^D本^D当^Dの^D自^D分^Dの^D場^D所^D偶然^Gにも^D出^D会^Dえる^Dこと^Dある^Dかもしれない^Dから

夕陽が目に染みる

D B G A A A D

^D「夕陽が綺麗ですね」と素朴に言ったつもりが
^G回りくどい告白と^A変にとられてしまい
^Dあとでググった意味では立派な愛の告白
^G知らなかつたことに汗が目に^A染みる ああ痛...

^Gそれで済めばよかっただけとあの時のあなた
^A切り返す言葉が「沈んでしまってますね」
^Gその残酷な意味も知らなくてよかったのに
^Aおりによってここで打ちのめされてしまうのか

^Gああ云々のけりやよかた
^A思い出す夕陽が目に染みる
^Gとにかくほっきりしたことは
^Aこれで終わりにする^Dこと

それまでスマートなつきあい、してきたつもりだったけれど
 あの時困った顔して 妙に狼狽えていた
 そんな意味もわからず 1-2ルBなだけの自分に
 欠けていたデリカシーが目に染みる ああ痛...

お互いの立場もあるゆきまえていたのに
 たがの無知な発言 まがまが修行が足りない
 おとら最大限の思いやりの言葉選んた
 あなたのことを思うとなんてバカだったんだろう

ああ云々のけりやよかた
 思い出す夕陽が目に染みる
 とにかくほっきりしたことは
 これで終わりにする^Dこと

Capo. D 1-2 R Em

もうやめよう

Em D D Em X

^G気がつけばいつの間にか ^{A7}目標ばかり立てて
^G嫌いなはずの ^{A7}ノルマを ^{Cmaj7}自分に完てしていた

^{Fm}新しい環境で ^D気分もよくなった ^{Fm}
^{Fm}これからのことだけを ^D考えていたと ^{Fm}ころに
^{Fm}不安を隠すための ^D嘘しを ^{Fm}求めて
^{Fm}やるべきが増えることに ^D生甲斐 ^{Fm}求めた

^G無駄な努力 ^{A7}もうやめよう
^D結局人の目 ^G気にしているだけ ^D
^G無理をしながら ^{A7}自分たちの
^D結果を出すこと ^G考えてやろう

気がつけばいつの間にか 終わったことあれこれ
嫌いなはずの「後悔」 たくさんしていた

考え方の違いで 悩みは解決できる
としかことは充分 わかっていたはずなのに
終わってしまったことは 今更どうしようもない
そういうことを充分 わかっていたはずなのに

下手な考え もうやめよう
結局人の目 気にしているだけ
無理をしながら 自分たちの
個性を出すこと 考えてやろう